

リスク管理

地方の自立が強く求められている現在、地域コミュニティの再生や活性化が急務となっている。それは特に、地域コミュニティの役割の希薄化も要因となり教育、福祉、安全など多くの分野で地域課題が顕在化しているからだ。こうした地域課題の解決には、行政の関与と地域コミュニティとの連携が不可欠であるが、行政の外部機関とのコーディネート能力の欠如が、地域の活性化や新規事業創出の阻害要因となっている。

◇

リスクマネジメント ABC

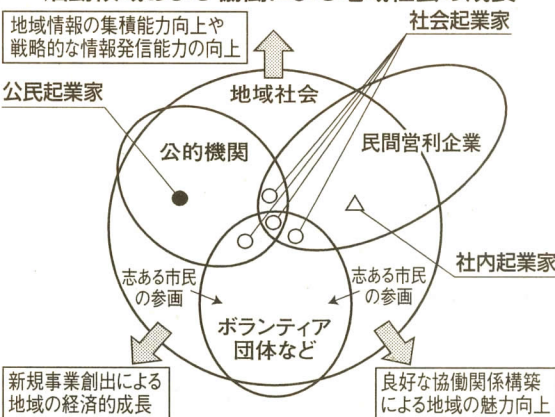
「公民起業家」の存在

行政の内部で連携づくり

「行政」の役割は大きい。行政が、地域との連携体制を構築するには、縦割りの組織の再編による外部機関とのコミュニケーションの円滑化、現場への権限委譲による行政サービスの革新など取り

組むべき課題が多い。しかし、行政機関は、外部機関を巻き込んで新たなことにチャレンジすること回避する傾向が強く、プロジェクトマネジメント能力の低下や新規事業立案能力の低下を

地域社会における各セクターで活躍する起業家の活動領域および協働による地域社会の成長



招いている。結果として旧態依然とした行政サービスを持しようとするため、地域活性化のため真に必要な事業に十分な経営資源(人材、税金)を投入することができず、課題解決が進まないという悪循環に陥っている。

そこで、「公民起業家(シビック・アントレプレナー)」の存在が重要となる。公民起業家とは、行政機関の内部で起業家精神を発揮し新たな事業手法や外部機関との連携体制を構築し、社会・地域課題解決にあたる人々である。彼らが、リーダーシップを発揮することで経験ある外部パートナーと連携し、新たな協働関係の輪をコミュニティ内で広げ、より良くなる。

(日本総合研究所)